

桃山東小たより

平成31年3月19日
京都市立桃山東小学校
校長 広瀬 容子



日増しに暖かくなる時節となりました。日頃は、本校教育活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。2月に児童や保護者の皆様からいただきました「学校評価アンケート」について、第1回と第2回を比較・分析し、次年度の取組の充実に向けて、推進すべき点や改善点に付きまして考察いたしましたので、ご報告させていただきます。

学校教育目標

～夢に向かい自ら学び心豊かに高め合う子をそだてる～

めざす子どもの姿 自ら学ぶ子 自他ともに大切にする優しい子
よりよく行動しようとする子 明るく元気な子

〈学校アンケート(保護者・児童アンケート・教職員自己評価)結果〉

	項目	児童		保護者		教職員	
		1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目
1	しっかりノートを書いている。	94.1	91.5	90.9	92.6	88.9	94.4
2	時間を意識して行動している。(ベル着)	90.2	84.5	94.5	97.2	100	100
3	道徳の時間にいろいろ考えることは楽しい。	83.2	83.0	85.2	86.1	100	100
4	「話し方名人」のうち、3つ以上できている。	80.8	80.2	—	—	94.5	94.4
5	「聞き方名人」のうち、3つ以上できている。	84.0	80.5	—	—	—	—
6	家庭学習(自主学習も)や宿題を進んでしている。	82.9	80.9	84.9	86.5	100	88.9
7	朝読書、週末読書に取り組んでいる。	79.3	76.5	37.4	36.3	88.9	94.4
8	忘れ物がないように学習の準備をしている。	85.6	84.3	78.2	79.1	—	—
9	相手に聞こえる声で挨拶をしている。	85.2	84.0	94.7	93.9	100	100
10	人に嫌なことを言ったり、したりしていない。	91.7	88.8	89.7	93.5	100	100
11	いじめや仲間外れをしていませんか。	78.5	94.9	—	—	—	—
12	自分の良いところがわかっている。	78.2	75.8	82.0	81.8	—	—
13	係り、当番や委員会活動を最後までしっかりとしている。	96.5	94.9	57.6	56.2	100	100
14	学校の決まりや学校生活のルールを守っている。	92.0	91.0	85.4	84.7	100	100

15	分からうことや困ったことなど先生にそう だんしている。	76.7	73.8	65.0	66.5	94.4	88.9
16	分からうことや困ったことなど家の人にそ うだんしている。	83.2	83.8	81.7	83.7	—	—
17	高学年は、他学年の見本になっている。	83.4	81.0	—	—	100	100
18	丁寧な言葉遣いをしている。	81.7	79.4	84.4	60.5	83.4	94.4
19	休み時間に外で遊んだり体を動かしたりし ている。	80.5	82.3	77.3	74.9	88.9	83.3
20	好き嫌いなく、残さず給食を食べている。	88.5	88.5	72.7	71.2	100	100
21	交通ルールを守り、安全に気を付けて行 動している。	94.4	93.1	93.0	92.1	100	100
22	早寝・早起き・歯磨きができている。	85.0	84.4	81.5	76.3	—	—
23	児童会やももキッズは、協力して活動してい る。	95.3	91.5	87.3	86.9	—	—

* 実現度は、「よくできている」「大体できている」を合わせた数値です。(%)

* 児童のアンケート項目に沿って、評価を載せています。(保護者の文章とは違う項目もあります。)

* 教職員評価については実現に向けて取り組んでいるかどうかについての数値を載せています。

1 楽しく分かる授業を目指して

学習に関する項目（①③④⑤）では、前回より少し下回る結果になりました。「楽しい・わかった・できた」と実感できユニバーサルデザイン化の授業の見直し・改善に努め、どの子も積極的に授業に参加できる授業を実践していきたいと考えます。また、「聞き方名人のうち3つ以上できている」の項目も前回より下回っています。上手く聞くことができない要因を探り、見直し改善を行い一人一人の子どもに寄り添って学習を進めていきたいと思います。

「先生に相談する」の項目では、実現度が7割にとどまりました。教育相談の回数を増やし、子ども達が困りごとや悩み事を言える時間や場所の確保を図り、気軽に話せる環境づくりなどの取組を充実させ、保護者の皆様と一緒に子ども達を育んでいきたいと思います。

2 「自分も友だちも大切にする優しい子」の育成をめざして

「人に嫌なことを言ったり、したりしていない。」の項目では、子どもの実現度は前回アンケート結果より若干下回りました。しかし「いじめや仲間外れをしていませんか。」の項目では、9割を超みました。これは、道徳学習の取組の充実や人権学習の充実の成果が徐々に表れてきたものだと考えています。来年度もこの水準を維持できるように様々な取組の充実を図っていきます。

「自分の良いところがわかっている。」の項目では、実現度が8割を超えていません。桃キッズでの縦割り活動の取組や学校行事等の見直し・改善・充実を進めることで、自己肯定感を育むとともに、互いを認め合える学級集団づくりを来年度も進めていく必要があると考えます。

3 家庭学習の定着を目指して

「家庭学習（自主学習も）や宿題を進んでしている。」の項目では、前回と比較すると児童アンケートの結果が若干下がっています。子ども達個々の学習の理解度をより一層しっかり把握し、個々に応じた宿題の出し方を工夫する等して家庭学習の定着を目指してい

きたいです。ご家庭におかれましては、学習予定等で宿題をご確認いただき、子どもたちに励ましのお声かけ等の一言をお願いします。家庭学習の定着に向けてご家庭と学校が連携して取り組んでいきたいと考えます。ご家庭でもより一層子ども達が集中して効率的に家庭学習（宿題等）ができるようご配慮ください。よろしくお願いします。

4 読書の習慣化を目指して

「本をよく読んでいる」の項目では、子どもの実現度が7割でした、それに対して、保護者の方は3割となっており、子どもの評価と大きく差がみられます。学校では、今後も図書館の利用推進や朝読書や読書ノートの活用・読み聞かせ等の充実などを図っていきます。また、学校運営協議会の皆様等からのご意見を参考にさせていただきながら読書習慣の定着を目指していきます。ご家庭におかれましても読書の環境づくりなどご協力いただきますようお願いします。

学校運営協議会の理事様からご意見をいただきました。

読書について

- ・放課後に習い事をしている子どもが多く家で読書する時間がないという現実もある。
- ・本に興味をもたせる工夫が必要。
- ・小さいころからの本の読み聞かせは有効である。

挨拶について

- ・挨拶運動をしていくべきではないか。
- ・大人が子ども達より先に挨拶をしていくことが大切である。
- ・挨拶をすることが当たり前という意識を育てることが大切である。
- ・家庭内でしっかりと挨拶をすることが大事である。
- ・大人が挨拶をしている姿を見せることを大事である。

その他

- ・スマホ（携帯）等の使い方をしっかりと教えていくことが大切である。
- ・勉強を進んで学習する力の育成が必要である。
- ・全国的にいじめが増えてきている。子どものサインを見逃さないようにしていくことが重要である。
- ・子どもが自信をもつ取組をより一層お願いしたい。

5 自由記述欄に頂いたご意見。

※同様のご意見はまとめたり、要約したりして掲載させていただいている。

「質問」 お子様に家庭での学習習慣（読書も）の定着に向けて大切にされていることを教えてください。

- ・読み聞かせを子ども達にしてもらい、親が聞く側になる。
- ・定期的に図書館に行く。
- ・寝る前に読書させる。
- ・いろいろな本の種類を読ませる。毎日本を読ませる。本屋に1週間に1回連れて行く。
- ・決まった時間に宿題をするように心がけている。夕食後に苦手な分野の学習をしています。
- ・家庭学習は、ドリルを1日1ページする約束になっていますが、習い事や遊びの時間も大切に思っているので、1週間で確実に7ページ終わるように自分で調整させている。
- ・子ども達が宿題をしている場所で事務作業などをしたり、読書をしたり一緒に机に向か

う時間を持つように心がけている。学習をしやすい環境作りをしている。

- ・毎日、宿題をするように声かけをしている。
- ・宿題が終われば褒めるようにしている。学校から帰ったらすぐに宿題をさせている。
- ・食事や入浴と同じように学習も「当たり前」という意識を育てている。
- ・登校前に学習（自主学習）をさせている。整理整頓を自分でさせている。
- ・遊びの時間、食事の時間、学習の時間等を決め生活リズムを作っている。
- ・タブレット教材や通信教材を毎日必ず少しづつさせている。
- ・小さな賞状や頑張った記録証などをリビングなどに貼り出している。
- ・テレビは、見たいものは録画して土日に見せるようにしている。平日は、見せないようしている。
- ・勉強（学習）は、こちらからあまりするように言わないようにしている。自分から進んでした時に褒めるようにしている。
- ・お風呂の時間にゲーム感覚で問題を出している。
- ・毎日、学年×20分の時間は、学習させている。
- ・読書が終われば、どんな話であったか要約を聞くようにしている。
- ・宿題を自分から始めるようにする雰囲気作りをする。
- ・楽しいこと（遊びに行くなど）の前に必ず宿題等ができるように繰り返し声をかけている。
- ・子ども自身が、本を読めるようになっても親の声で本を読み聞かせを続けるようにしている。
- ・読書の時間を決めて家族全員で読書の時間を作っています。
- ・ドリルなどを買い、必ず親が丸つけをするようにしています。
- ・親が学習を強制するのではなく子ども自ら行うように見守っています。
- ・夕食を食べるまでに学習させるようにしている。
- ・毎日同じパターンを作りコツコツ学習をする習慣を大切にしています。
- ・子どもに無理をさせないように自ら進んで学習することが大切です。
- ・「宿題を終わるまで外に遊びにいかない。」というルールを作っている。
- ・学習予定表の「親の一言」欄に同じ言葉ばかり書かない。頑張った事を必ず見つけて、書いた言葉を本人にも読み上げる。
- ・学習する前に机の周りの整理整頓をさせて集中して学習ができる場づくりをしてから学習させます。

保護者の②の項目「子どもは楽しく学校に通っている」では97.2%と実現度が高く嬉しい結果となりました。

学校では、学校教育目標の実現に向けて、家庭では働きかけを振り返る機会としていただくことで、学校と家庭が結果を共有し、改善に向けて連携・協力していきたいと考えています。お忙しい中、アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。来年度に向けて、検討・見直しを進めていきます。今後とも、ご支援ご協力をどうぞよろしくお願いします。

この印刷物は、不要になりましたら「難がみ」としてリサイクルできます。

コミュニティ回収や古紙回収等にお出しください。

